

令和5年第2回東北町議会定例会会議録

令和5年6月6日（火曜日）午前10時00分開議

○議事日程（第2号）

日程第1 一般質問

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

○議長（岡山粕男君） 日程第1、一般質問を行います。

一般質問の通告は4名であります。

通告順に発言を許します。

2番、斗賀高太郎議員は、一問一答方式による一般質問です。斗賀高太郎議員の発言を許します。

〔2番 斗賀高太郎君登壇〕

○2番（斗賀高太郎君） 皆様、改めましておはようございます。2番、斗賀高太郎です。

一般質問に入る前に、少しだけお話しさせていただきます。私が所属させていただいている東北町商工会青年部にて、7月23日にわかさぎ公園でいかだレース、8月5日に北総合運動公園にて夏祭り、ビール祭りを開催させていただきます。青年部のメンバー一同、仕事の合間を縫って、子供から大人までどうやったら楽しめるのか、精いっぱい考えて企画しているイベントですので、ぜひ皆様、足をお運びいただくとありがたいです。よろしく願いいたします。

それでは、通告に従いまして一般質問に入らせていただきます。私からは、3事項、6つの質問をさせていただきます。

1つ目、地域発展と教育に関する取組についてです。1、各地域一体となって祭りへ参加してもらうため、東北小学校、東北中学校でも学校単位での参加や練習期間のスクールバス時間の延長などはお考えでしょうか。

2、学務課と学校が協力し、中学生が班を組んで各地域へ取材を行い、東北

町マップを作成するなど、地域への理解を深めてもらうような取組は何かお考えでしょうか。

続いて、投票率向上と若年層の選挙への関心を高める取組についてです。中学生が議会とは何か、議会とはどう行われているのか、町政に対してどういった取組をしてほしいか、関心を持ってもらうために中学生議会の開催等何かお考えでしょうか。

続いて、若年層を対象とした座談会や、中学生の選挙と行政をテーマにした授業を行うなど、何か取組はお考えでしょうか。

続いて、職員への業務効率化と意欲向上への取組についてです。現在行っている作業の中で、外部委託することで作業が効率化するような業務を各課で洗い出しさせる等、効率化を図る施策は何かお考えでしょうか。

続いて、人事評価に関してですが、総務課人事部として半年に1度程度、職員への希望の課への配属などの聞き取り調査や面談を行い、職員の意欲向上などを行う何かお考えはございますでしょうか。

以上、3事項、6つの質問でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（岡山粕男君） 町長。

〔町長 長久保耕治君登壇〕

○町長（長久保耕治君） それでは、2番、斗賀高太郎議員のご質問にお答えをいたします。

一般質問通告のありました質問事項1の地域発展と教育に関する取組については、後ほど教育長より答弁をさせていただきますので、私からは質問事項2及び3について答弁をさせていただきます。

質問事項2の投票率向上と若年層の選挙への関心を高める取組についてお答えをいたします。質問要旨の1点目、中学生が議会とは何か、議会とはどう行われているのか、町政に対してどういった取組をしてほしいかや、関心を持ってもらうために、中学生議会の開催など何かお考えでしょうかについてですが、今年度から新たな取組として、8月に子ども議会を開催する方向で現在作業を進めております。今年度は、各小学校6年生を対象として実施することにしております。なお、次年度は、中学生を対象として開催したいと考えております。

私も町長就任以来、児童生徒のいわゆる子ども議会をぜひ実現をしたいという思いがございました。目的といたしまして、4点ほどございます。1点目が子供たちに東北町の将来について一緒に考えてもらうということ。2点目として、子供たちの保護者や家族、さらには町民とともにまちづくりについて考えていきたいということ。3点目は、議会や行政、選挙などについて、子供たちに興味、関心を持ってもらうということ。そして、4点目は、そのようなことの副次的な効果といたしまして、様々な選挙における投票率のアップを図っていく、その4点が子ども議会開催に向けた目的となりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

質問要旨の2点目、若年層を対象とした座談会や中学生への選挙と行政をテーマにした授業を行うなどの取組はお考えでしょうかについてであります。初めに若年層を対象とした座談会についてですが、私が町政運営における重要施策の一つとして、住民力が生きる協働のまちづくりを掲げております。町民の皆様の声に耳を傾け、町政へ反映させることにより、行政をより身近に感じていただき、その自主性、自立性を促し運営されていく全員参加型の協働のまちづくりを進める場として、とうほくまちづくりミーティングを開催しているところです。ミニ座談会もそうです。対象者は、地域コミュニティー組織、町内を拠点とする各種団体、もしくはグループとしております。選挙行政を含めたまちづくりに関してのテーマであれば、形式にこだわることなく気軽に意見交換をできればと思っております。日時や場所、人数等についても柔軟に対応しておりますので、ぜひ斗賀議員も自分のコミュニティーであり、お知り合い等へお話ししていただければ、いつでも対応したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、中学生への選挙等をテーマにした授業を行うなどの取組についてであります。当町には東北町明るい選挙推進協議会という団体がございます。その協議会の運動方針に、次代を担う児童や生徒を対象に、模擬投票を含む出前講座を通じて啓発活動を行い、選挙を身近に感じてもらうことにより、選挙や政治に対する意識を高めると掲げておりまして、平成27年度は東北中学校、そして平成28年度は上北小学校、さらに平成29年度は水喰小学校において、青森県選挙管理委員会並びに青森県明るい選挙推進協議会と連携して出前講座など

を行っていたと伺っております。今後当協議会と学校等と相談をし、来年度以降実施するか協議してまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

次に、質問事項3の職員の業務効率化と意欲向上への取組についてお答えをいたします。質問要旨の1点目、現在行っている作業の中で外部委託することで作業が効率化するような業務を各課で洗い出しをさせるなど、効率化を図る施策は何かお考えでしょうかについてであります。町が業務委託を実施している主な内容につきまして、大きく分けて行政事務として事務処理すべき業務の中で、特に専門性の高い電算関係及び設計または測量などの専門的業務については外部委託を行っており、また庁舎等の清掃及び夜間、休日等の警備業務、または施設設備管理等の特殊業務など、職場環境及び施設管理などに係る業務等につきましても、外部に業務委託をしている状況であります。

これは、議員のご指摘のとおり、業務の効率化及び職員の労働環境の改善的要素もございますが、第一には町民の皆様への安定的な行政サービスを提供するために必要な業務を外部委託しているところでございます。

また、事務の効率化などを図るための業務委託の協議及び洗い出しなどにつきましては、主に当初予算編成時に翌年度事業などを想定し、各課の中で協議検討し、予算編成とともに業務の体制及び効率化などを考慮しているところであり、年度途中においても様々な事案に対応するため、常に各課ごと、または課を超えて全庁的に協議しながら対応を図っているところでありますので、ご理解を賜りたいと存じます。

質問要旨の2点目、人事評価に関してですが、総務課人事部として半年に1度程度、職員への希望の課への配属などの聞き取り調査や面談を行い、職員の意欲向上などを行う考えはございますかについてですが、人事評価の目的は、職務遂行の過程で見られた職員の意欲、能力及び勤務の実績などを把握し評価することにより、職員の能力開発、勤務意欲の向上、適材適所の人事配置などを進めるために行うものであります。当町においても、東北町人事評価制度実施要綱に基づき実施しているところでございます。

人事評価における評価対象期間は、4月から3月までの1年間としております。また、課内における職員の業務についても、年間を通しての業務分担とし

ておりますので、ご質問にあります半年に1度程度の職員への希望の課への配属など、聞き取り調査につきましては現在は行っておりません。

また、人事評価制度においては職員への面談も実施しており、勤務意欲向上を目的とした制度でございますので、ご理解賜りたいと存じます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（岡山粕男君） 教育長。

〔教育長 沼尾一秋君登壇〕

○教育長（沼尾一秋君） 一般質問通告のありました質問事項1、地域発展と教育に関する取組についてお答えします。

質問要旨の各地域一体となって祭りへ参加してもらうため、東北中学校でも学校単位での参加や練習期間のスクールバス時間の延長などはお考えでしょうかについてであります。上北中学校では以前から教育活動の一環として、全校で秋祭りに参加しておりますが、東北中学校では近年ここ一、二年、山車運行もなくなってきていることから、実行委員会からの要請で、日の本中央まつりのオープニングでの吹奏楽の演奏や灯籠づくりなどを実施しているところです。

東北中学校でも上北中学校のように全校単位での参加、取組はできないのかということではありますが、教育委員会としては、まず学校側の考え方、そして実行委員会の計画などを確認して今後検討してまいりたいと考えております。仮に東北中学校でも全校参加の形で祭りへ参加するのであれば、スクールバス運行についても検討したいと考えております。

次に、2点目の学務課と学校が協力し、中学生が班を組んで各地域へ取材を行い、東北町マップを作成するなど、地域への理解を深めてもらうような取組は何かお考えでしょうかについてであります。現在町内の小学校3年生、4年生の社会科の学習の中で、町教育委員会が独自に作成した「わたしたちの東北町」という副読本を活用して授業を行っております。その副読本の内容は、東北町の公共施設やその周辺地図、文化施設、文化財、郷土芸能、産業など、様々な分野について紹介しているものであり、我が町を知る上では大変貴重な副読本となっております。小学生の段階から、私たちの東北町の理解を深めてもらうために作成したものです。なお、現在、昨年度町内全ての児童生徒に配

布したタブレットでも学習できるよう、この副読本の改訂版を作成中です。「改訂版わたしたちの東北町」は、来年、令和6年3月に完成し、4月から利用することになっております。

以上、私からの答弁とさせていただきます。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） 地域発展と教育に関する取組について再質問させていただきます。

全校参加型にとらわれず、乙供地区以外の希望者を募ってみて、参加したい生徒があれば、祭りの練習後のスクールバス運行などは可能なのでしょうか、こちらについてお伺いいたします。

○議長（岡山粕男君） 教育長。

○教育長（沼尾一秋君） スクールバスの運行については、祭りへの参加そのものが学校教育の一環だと校長が判断する場合は可能となると思います。

しかし、希望者も少なく、学校教育の一環として認め難い場合は難しいかなと思っております。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） 回答ありがとうございます。やはり乙供地区以外の方たちの中では、乙供の祭りだという認識の方もすごく多いのかなと思っております。現在の乙供地区の秋祭りのように、東北地区全体で参加して楽しむお祭りだという認識に変えていければなと思っております。伝統芸能としても素晴らしい神楽ばやしだったり太鼓を私たちは小さい子供たちにも好きになってもらって、後世にも引き継いでいってもらいたい、そして残していってもらいたいなと感じています。そこには親御さんの送り迎えが負担とならないよう、そしてスクールバスの延長など町側のご協力あって、子供たちに実際に参加してもらって経験してもらうこと、参加してみてどうだったのか、すごく楽しかったよとか、そういうのをご家族に伝えてもらうことが非常に重要なのかなと感じています。町や学校、地域の町内会単位で、ぜひ協力してやっていければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続いて、（2）の東北町マップに関してですが、こちらも要望にはなりますが、勉強不足で、「わたしたちの東北町」という副読本があることを僕は知ら

なかったので、ぜひお休みの機会にでも親子でその副読本に掲載されている場所などに実際に行ってもらうように、学務課並びに教育委員会のほうでも広報活動など、広めていただければなと思います。

続いて、2の投票率向上と若年層の選挙への関心を高める取組についてですが、こちらも感想にはなりますが、子供たちにも議会がどのように行われているのか知ってもらう非常にいい機会なのかなと思っております。彼らの目線で見える東北町に対する意見というのは、我々にも非常に勉強になることが多いのかなと思っています。ぜひ1度だけで終わることなく、毎年継続して開催できるようにお願いいたします。

次に、懇談会などの部分に関してのご質問ですが、やはり若い世代の方々は、参加しやすい砕けた雰囲気の見聞交換会のほうが発言などもしやすいのかなと思っています。各課長たちに並ばれて質問するとなると、僕も今緊張しているとおりで、若い方たちもかなり緊張するのかなと思いますので、そういった参加してみようかなと思う砕けた雰囲気の企画もぜひ検討いただければなと思います。

そして、出前講座の件ですが、予算等もあるかとは思いますが、子供たちにも大人になったら選挙へ行ってみようかなと思ってもらえるよう、出前講座だけでなく様々な施策も引き続き検討していただければなと思っております。よろしくお願いいたします。

続いて、職員の業務効率化と意欲向上についての取組についてですが、業務委託、外部委託だけにとらわれず、こうしたほうが作業をやりやすいよねなど、職員の方々が気軽に意見が言える環境づくり、1年に1度でも各課全体で現在の業務効率化というのはどうなのかなとか、業務分配に対する会議を開くなど、そういった働きやすい環境づくりというところが必要だと考えますが、いかがでしょうか。よろしく申し上げます。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 斗賀議員にお答えをいたします。

業務の効率化であったり、職員の皆さんのということで、まさに行政サービスの中で一番核になる部分というか、何よりも基礎の中の基礎、それは職員の皆さんが意欲的に働くことではないかと思えます。私もそういった思いで、職

員の皆さんの様々な風通しのよい職場をつくりたいということで、いろいろと職員の皆さんにはるるお話をさせていただいているところでもあります。

そういった中で、私が就任する前から、また就任してこれまで、やはりコロナ禍だったということで、恐らくはその以前の職員の皆さんの負担であったり、各課の様々な負担の度合いというのが、コロナ前、コロナ禍、そしてこれから変わってくると、変わってきていたのだらうなと思います。

またなおかつ、私が就任して以来、様々な新しい取組をしようと思っ
ている中で、やはり業務の負担も増えてきたのかなと、本当に職員の皆様にもご負担をかけているのかなというふうな思いもありまして、できるだけ職員の皆さんの声には耳を傾けていきたいと、そういった姿勢で臨んでいるところです。

そういった部分の中で、さてこれからコロナが明けて、職員の皆さんがまた業務配置された中で、新たなものができたり、また一方では業務が軽減される部署も出てくるかと思えます。もう一度、そういった部分をしっかりと現況に鑑みながら、議員がご指摘いただいた部分において、特段偏った形がないような業務分掌、分担をしていくように、しっかりと担当課と話し合いをしながら、職員の声も聞き入れながら取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解賜りたいと思います。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） やはり町長もすごくアイデアマンであり、新しいこと、革新的なことをやりたいというお話も色々聞いていたので、仕事面で、職員の方たちが現在の既存の仕事にプラス新しいということになると、やはり負担が増えてしまうので、効率化できるところは効率化していくというところは非常に重要なのかなと思いますので、ぜひご検討よろしく願いいたします。

続いて、（2）番の質問、人事評価に関してですが、人事評価において職員との面談を行っているとのことですが、所属長と職員が話しやすい環境づくりをされていらっしゃるのでしょうか。例えば面談時に、1年を通して現在所属の課はどうなのか、これまでやってきたお仕事の中でやりがいを感じたのはどういう仕事だったのか、話しにくい上司はいないか、やってみたい仕事はどんなものかなど、職員の方々の心情的にも寄り添った面談というところは意欲

向上にも非常につながるのかなと思いますが、そちらに関してはいかがでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） ご指摘ありがとうございます。まさに議員がおっしゃるとおり、まずは各担当の部署において風通しがよくなることこそが大事なことだと思っております。そういう部分において、やはり各課長さんたちは部下の方々に対して、何かあったら言ってくださいという話はしていると思います。ただ、なかなか言いにくいというか、口が重い職員の方々もいらっしゃいますので、改めて課長たちにはしっかり部下に目配りをして、変化に気がつくようにというふうな形で、私のほうからも徹底させたいというふうに思っております。

あと、希望の課の配置であったり、やはり職員の皆さんも様々希望の課があったり、また面談等をするといろいろな意見が出てくるかと思えます。町役場、いわゆる地方行政、特に市町村の役場における特殊性として、どちらかというところ専門的なスキルというよりは、むしろ来るお客様が町民の方々だというふうに東北町の場合想定された場合に、やはり広く浅くと言えればおかしい言い方かもしれませんが、様々なことにある程度の知識が必要になってくる部分はあると思います。よく聞く話に、役場に行って話ししたら、「それは私分らないから、そっちに行ってくれ」と言われたと、そういう苦情とかあったりするのですが、役場の体制で考えてみると、確かに行ったことがなければ、分からないことを知ったふりをして教えることもできないということで、でもそういうことが誤解を生むこともあると。であれば、やはり若いうちからいろいろな部署を通じて、ある程度の知識を入れておくということは、職員を教育する上でも必要なことだと思えます。ただ、その上で、恐らく職員の皆さんも自分の得手不得手だったり、ご希望の部署等もあるのかと思えます。私自身にも、例えば聞き取れる機会があったら、職員と寄り添いながら様々、どんな感じかとかというのを聞きながら、職員のそういった変化に私自身も寄り添ってまいりたいなというふうに考えております。本当に職員の皆さん、コロナが明けて、これからまたいろいろ忙しくなってくる部分もあると思えますけれども、そこは私も三役も含めて一丸となって、町民の皆様への行政サービスにおいて

差し障りがないように、一生懸命頑張ってまいりたいと思いますので、ご理解賜りたいと思います。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） 人事の面というところでは、やはり課長と職員の方たちのコミュニケーションというのも非常に重要になってくるのかなと思います。

また、先ほど町長にもお話しいただいたように、得手不得手というのはそれぞれ職員の方たちにもあって、事務作業が得意な方もいれば接客が得意な方もいる。そういった中で、やっぱり得意なことを仕事として、業務としてやっていただけるような環境づくりというのも非常に重要なのかなと思います。

私は、役場の職員という仕事が東北町で正直一番なりたい仕事であってほしいなと感じております。そのためには、役場の方々に生き生き働いてほしいです。やはり行政運営において、職員の方々が実働を担っていただいておりますので、小さな部分からでも改善をしていくことで、東北町もさらによくなっていくと思いますので、ぜひこちらにいる皆様と引き続き改善していけるよう、一緒に考えていければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

これをもちまして私の一般質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

○議長（岡山粕男君） これで2番、斗賀高太郎議員の一般質問を終わります。